

西彼保健所感染症情報

令和7年 第27週 令和7年6月30日 ~ 令和7年7月6日

全数把握対象感染症 発生状況

※報告日週掲載 (県作成速報：診断日週掲載)

一類感染症	報告なし
二類感染症	報告なし
三類感染症	報告なし
四類感染症	報告なし
五類感染症	【第27週】百日咳 患者4名(10代・女性2名、男性1名、30代・女性1名)

定点把握の対象となる5類感染症 発生状況 (定点医療機関当たり患者数)

疾病名	週別 発生状況		基準値			疾病名	週別 発生状況		基準値		
	26週	27週	警報レベル		注意 報レベル		26週	27週	警報レベル		注意 報レベル
			開始	終息					開始	終息	
インフルエンザ定点	0.20	0.20	30	10	10	突発性発しん	0.33	0.00			
COVID-19	0.40	4.40				ヘルパンギーナ	1.00	4.33 ↑	6	2	
急性呼吸器感染症 (ARI)	76.20	76.00				流行性耳下腺炎	0.00	0.00	6	2	3
R Sウイルス感染症	4.33	0.33				急性出血性結膜炎	0.00	0.00	1	0.1	
咽頭結膜熱	1.00	0.33	3	1		流行性角結膜炎	0.00	2.00	8	4	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.67	2.33	8	4		細菌性髄膜炎	0.00	0.00			
感染性胃腸炎	9.00	8.67	20	12		無菌性髄膜炎	0.00	0.00			
水痘	1.67 警報	0.33	2	1	1	マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00			
手足口病	0.00	0.33	5	2		クラミジア肺炎	0.00	0.00			
伝染性紅斑 (リンゴ病)	0.67	1.00	2	1		感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0.00	0.00			

トピックス・季節情報

長崎県は7月4日に「日本脳炎注意報」を発表しました

長崎県では日本脳炎の流行予測を目的として、毎年6月から9月の間に日本脳炎ウイルスの増幅動物であるブタのウイルス感染状況を調査しています(10頭×8回)。

令和7年度第2回目調査(令和7年6月25日に採血)において、1頭のブタから日本脳炎ウイルスに最近感染したことを示す抗体を検出しました。



日本脳炎ウイルスは、ブタの体内でいったん増えて血液中に出てきたウイルスを「蚊」が吸血し、その上で「蚊」がヒトを刺した時に感染するため、日本脳炎が発生しやすい状況になったと考えられます。

長崎県では、令和3年(平戸市1例)、平成28年(対馬市4例)、平成25年(諫早市1例)に患者が発生しています。

蚊に刺されない対策や、蚊を増やさない環境づくりが重要です!

2歳未満(ワクチン未接種)及び45歳以上(ワクチン効果の減弱)では、日本脳炎の抗体が低い傾向があります。

年齢/年齢群別の日本脳炎抗体保有状況, 2024年
~2024年度感染症流行予測調査より~
主に2024年7~9月に採取された血清の測定結果:2025年5月現在速報値

